EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

05104770

PUBLICATION DATE

: 27-04-93

APPLICATION DATE

18-10-91

APPLICATION NUMBER

03297937

APPLICANT:

FUJI PHOTO FILM CO LTD;

INVENTOR:

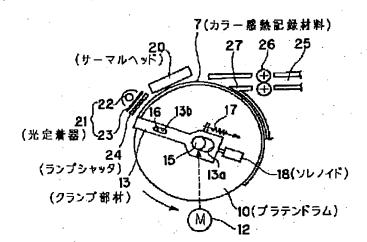
SATO MASAMICHI;

INT.CL.

B41J 2/38 B41J 2/32 B41M 5/26

TITLE

COLOR THERMAL PRINTER



ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent the generation of the deficiency of recording density or light fixation at the start time of printing.

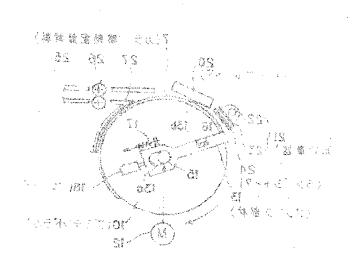
CONSTITUTION: When a printing button is pushed, a lamp shutter 24 is closed and an ultraviolet lamp 22 is preliminarily allowed to light by voltage higher than that at the time of usual lighting. At the same time, a thermal head 20 is driven in the same state as that at the recording time of the max. density to be preheated. The preheating of the thermal head 20 is stopped immediately before thermal recording is started and the preliminary lighting of the ultraviolet lamp 22 is also changed over to usual lighting immediately before the start of light fixation.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

17 (1801). 29 (26, 19)		TAT!	WHI KOL MORTALH	
7.00.50080 (34), 44		CALL NOWER	METADE MOLADE	sactV.
		fine ("Elligg")	. TZAS):	ewely.
•.	#10HMARA	Millian	130 1 28	WW
08 , 51 188 V	V 12/24 24/2		\$ · · *- •	ı "Vi
o water	2 .5 54 477	90,000		. 5



AKE TRACT

pusebons it has start lime of priming the dehotophy of recording density or light by about it has start lime of priming.

CONSTITUTE, 13%, when a printing button is pushed, a tient share 24 is crosed and an intervolet term 24 is presiminarly, allowed to light by voltage ingher than that at the time or unast tighter At the same, rates, a there are there as the conting time. At the same, rates, a there are the near density to be preheated. The preheating of the thermal copy. The stropped immediately, before thermal recording is started and the preheating as agreed the prehicular sequence of the time and appearance of the time.

AND ACTOR SPRESSY HOME SOND

(11)特許出願公開番号

(19)日本国特許床出(馬B)建立花器家(12)汇公。開。《特》:許公報(A)

這樣本聯音等特勢中釋世特開平5~104770 熱配器卡拉瓦部外工電影

F動脈が多されてスター・コスタンはいこう 技術表示箇所 第4点 もに、毎宝家郷在平隣県付きせるよっにしたこと 参辯體上上示之一。 報酬 ₹~1.2、

[[甲對六路路內理學]

116

3/20

審査請求、未請求、請求項の数1(全8頁) 最終頁に続く

B41J

B41J 2/38

100001 1 下獎灣……元2/324聲達【貴里司格古司主英權金攀驛】 「B41M4 5/26%表面都是下海衛星 3/10 中心。 韓京2.5年811922 もに、光定容器を下傷点ださざるように , 8907 , 2C-

(百百百万) 本緒明は、「日)下園最前における部級楽

(51)Int.Cl. * 3 あたいさぶす 職別記号にお床内整理番号

異な関係されるため、整体線の発生圏が一分でで、

宝蓉がらりもにはみという問題がある。

(7050)

(21) 出願番号簿 | 対特願平3二297937共参一できつ例か エーターとによって突線を削に関戦される。この「エ (22) 出願日持年度7年8 平成3,年(1991)10月,18日,至年上 り カラー爆熱記録材料での少なくともこと所得えば先 場をブラモン ドラム:真に開定する。クランプ部練!3 はつ字形をしており、鋼端部に避けた長立182.13 下が、ゼニテンプで広観しる。ガイドビニルもに参れて れ接合している。、のカラップ部材1317、適常はすぎ □ ガニインといってーキュミッム(10に民族1でお) カニ 滅熱記録は終りの複数略に、パーノイド、8 たいったインテントセストルから開わる方面に移動した

「申言れる」 強能 ニュビュートナストロの角端には、多数 の鈴鸚園でもって、はじ齟齬にとせってきかがたない

(54)国発明の名称 (製) カラゴ感熱プリンタ楽で、1 奥 (ま) n roに対文としたを持った総状の媒体様で、ブロコニ (57)を【要約】イッカカー資本報料優麗なりませます 聯島 『【目的】参与プリンド開始時における記録濃度の不足や光 定着不足の発生を防止或る許らのことです。そこでにた "【構成】際科プリントボタシをONにすると、ランプシャ 砂タ2、4分間じられた後に紫外線ラシブ2・2は通常点灯 より高い電圧で予備点灯される。これと同時にきサーマ ルベッドに200は、最大濃度を配録する時と同じ状態で駆 一動され、予備加熱される認定のサーマルヘッド・2000予 『備加熱は冷熱記録が開始される直前に停止され、紫外線 ・ランプ・2・2・の予備点灯も光定着の開始直前に通常点灯に ま、この実施何では、こつの通路が縮**診が治されらい替び** に薬剤されているが、これらは劉國に衆社でもよい。

できる際 し は体験は機能へでじ、おこ園(0000) ちのである。支持作30m上に、アン島外等色間で 7七二岁级感馆商展127 3種酚素機能~ 1: 2、森勝族も4が際大闘が主社でいる。これらの各域が 発色属31~33は、純高線される概器に立確から母鏡 2.一种工工工、序门进行制入槽、然适付工法。 なしが記録さる場合には、インロー機能発展機能と"11

光定賞するため、報味ニニッグ (71)出願人 000005201 [9500]

19 17 城富士写真スイルム株式会社 (商具でまた) 一条神奈川県南足柄市中招210番地 (72)発明者、乾。冬機協衆・遊詢コヌ南コは林桑婦や海 章商社直報式東京都港区西麻布2~26、30 富士写真フ である拳の移長がある。内共会体教会と下の縁続プロン 新江聯公長自**工ル会株式会社内** 期期替 、科美姆 、共同工程 (72)発明煮經育藤平均二十學發表 (11年) 」 强國大同學東京都港区西麻布 2 一26 30 多富士写真了 ふきつか!こ**ゴル会株式会社内**(き弱面()) (74)代理人一介理主资小林,和基础。 **を持つ国外最**の場合を関する場合を関する場合を関います。

器を平立らが、水の路線発色圏に線配線でる際に、キャ 上に多る熱治線活みの機勢発色器が再度線影響されない ペピナるため、熱脳暴停に闘々の残務等色層に挙した (本体養温療動物では)7年 (単体養温療動物では)7年 (単位は、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現を表現されば、1980年)1年の表現を1980年)1年の表現を1980年)1年の表現を1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現を1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現を1980年)1年の表現を1980年)1年の表現を1980年)1年の表現を1980年)1年の表現を1980年)1年の表現を1980年)1年の表現では、1980年)1年の表現を1980年)1年の表現を1980年)1年の1980年が1980年が1980年の1980年が1980年

27

26 25 (サーマルヘッド) 学に参考 (シン製造機) 斯斯斯里里可**22**50 s + 15 17 然 (ラジラシャッタ) り コでまずが31 スポリクラスプ酸粧ル金 , VAN & (M)> 12

に、各個素の第二番目のラインを記録する際 構が終い立た。けバルスを用い、配縁可能な領波に突然 素予を刊書に立立しげるか・・ ディング補正を提案した (特臘42~) 5886年 、「か」、このような」で ·平子。芝植产家约《节节、数字(B)扩展对点 DC。 カット 舞時中央材料の先曜間を所定の等度に開発するこ これてきず、虚関不足となる。

(1) (1) (1) 支票、阿穆尔河峰立程次分子一朗韩闻跃村 2. 建主度 1.人力權與內難撥繳內上自關實力是 17. 上便出代 1 【特許請求の範囲】

【間求項11】 カラニ感熱記録材料の感熱発色層を熱記 録するサーマルヘッドと、この熱記録された部分に電磁 線を照射して定着する光定着器とを有するカラー感熱プ リンタにおいて、

熱記録を開始する前に予めサーマルヘッドを予備加熱す るとともに、光定着器を予備点灯させるようにしたこと を特徴とするカラー感熱プリンタ。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】な発明は、カラー感熱記録材料に ビデオ画像等を熱記録した後、これに電磁線を照射じで 光定着するカラー感熱プリンタに関するものである。

【従来の技術】サニマルブリンタには、感熱プリンタと 熱転写プリングがあるが、これらのうち感熱プリンタは 感熱記録材料に直接に画像を熱記録することができるた め、転写ジート等の廃棄物が発生せず、また構造が簡単 である等の特長がある。このような特長から感熱プリン タは広く用いられる傾向にあり、例えばヴァグジミリの 殆どはモノクロの感熱プリンタが組み込まれている。最 近では、例えば、特開昭6十分213169号公報に記 載されているように、支持体上にマセジタ感熱発色層 シアン感熱発色層、イエロー感熱発色層を順次層設し て、フルカラーの画像を直接に熱記録することができる ようにしたカラー感熱記録材料が提案されている。この カラー感熱記録材料は、表面の感熱発色層から順に熱記 録を行なうが、次の感熱発色層に熱記録する際に、その 上にある熱記録済みの感熱発色層が再度熱記録されない ようにするため、熱配録後に個々の感熱発色層に特有な 30 波長域の電磁線を照射して発色能力を失わせている。

[00033] 75 05 【発明が解決しようとする課題】熱記録には、複数の発 熱素子をライン状に配列したサーマルヘッドが用いられ る。サーマルヘッドは、蓄熱によって生じる尾引き現象 をなくすために、放熱に対して各種の工夫を施し、発熱 した発熱素子を速やかに冷却するようにしている。この ためサーマルヘッドが充分に冷えきっている状態から熱 記録を開始した場合に、図7(A)に示すように、カラ 一感熱記録材料の前半部では、所定の濃度(例えば最大 濃度) に記録することができない。そこで、本出願人 は、各画素の第1番目のラインを記録する際に、パルス 幅が長い立ち上げパルスを用い、記録可能な温度に発熱 素子を迅速に立ち上げるシェーディング補正を提案した (特開平2-15886号)。しかし、このようなシェ ーディング補正を行っても、図7(B)に示すように、 カラー感熱記録材料の先端側を所定の濃度に記録するこ とができず、濃度不足となる。

【0001】また、画像が記録されたカラー感熱記録材 料に対しては光定着器により電磁線が照射され、光定着 50 夕感熱発色層との位置が入れ換えられる。

(A) 禁 公 デーが行われるが似光定着器が点灯された直後からこの光定 着が開始されるため、紫外線の発生量が十分でなく、光 定着が不十分になるという問題がある。

> 【0005】本発明は、プリント開始時における記録濃 度の不足や光定着不足の発生を防止したカラー感熱プリ ンタを提供することを目的とするものである。
> シュュリー [0006] CIPU

【課題を解決するための手段】本発明のカラー感熱プリ ンタは、熱記録を開始する前に予めサニマルベッドを予 備加熱するとともに、光定着器を予備点灯させるように したものである。

[0007]

【実施例】。図1、において、プラテンドラム+0は、その 外周にカラー感熱記録材料でを保持し、熱記録時にパル スモータ12によって矢線方向に回転される。このブラ テンドラム軍のピグラジブ部材料3が取り付けられてお り、カラー感熱記録材料7の少なくとも1ケ所例えば先 端をブラテンドラム10に固定する。クランプ部材13 はコ字形をしており、両端部に設けた長穴13a,13 bが、プラテンドラム軸15、ガイドピン16にそれぞ れ嵌合している。このクランプ部材13は、通常はスプ リング17によってプラテンドラム10に圧接してお り、カラー感熱記録材料7の着脱時に、ソレノイド18 によってプラテンドラム10から離れる方向に移動され

【0008】前記プラテンドラム10の外周には、多数 の発熱素子をライン状に配列したサーマルヘッド20 と、光定着器21とが設けられている。光定着器21 は、図2の実線で示すまちに、ほぼ3665mmと4280 nmに発光ピークを持った棒状の紫外線ランプ22と、 点線で示すような透過特性を持ったカットフィットで2:3 と、紫外線ランプ22の予備点灯中に紫外線を遮光する ランプシャッタ24とから構成されている。前記力の計 フィルタ23は、ソレンペド等によって紫外線ラジズ2 2の前に入れられた時に、海ほぼ420 五面付近の近紫外 線を透過する。給排紙通路2.5には、搬送ローラ対2.6 が配置されており、これを通うでカラー感熱配録材料7 が搬送される。また、給排紙通路2.5のブラテンドラム 側には、排紙時にカラー感熱記録材料での後端を給排紙 40 通路25に案内するための分離爪27が設けられてい る。この実施例では、1つの通路が給紙通路と排紙通路 に兼用されているが、これらは別個に設けてもよい。

[0009] 図3は、カラー感熱記録材料の一例を示す ものである。支持体30の上に、シアン感熱発色層3 1,マゼンタ感熱発色層32,イエロー感熱発色層3 3,保護層34が順次層設されている。これらの各感熱 発色層31~33は、熱記録される順番に表面から層設 されているが、例えばマゼンタ,イエロー,シアンの順 番に熱記録する場合には、イエロー感熱発色層とマゼン

【01011 01 前記支持体300としては、不透明なコート 紙又はプラスチックフイルムが用いられ、またOHPシートを作成する場合には透明なプラスチックフイルムが 用いられる。シアン感熱発色層3511は、電子供与性染料 前頭体空電子受容性化合物を主成分として含有した加熱 された時にジアンに発色する。深マゼジタ感熱発色層3-2-としては、損犬吸収波長が約3-6.5 mmであるジアシーシウム塩化合物とは、これと熱反応してマゼジタに発色する。カプラーとを含有している。このマゼジタ感熱発色層3-21程ポザニマルベジド2-0でマゼジタ画像を熱配縁した 後に、365 mm付近の紫外線を照射するとジアゾニウ 点塩化合物が光分解して発色能力が失われる。率 【10 両】

【0011】イエロー感熱発色層。353は、最大吸収波長が終す。201mであるジアジェウ出塩化合物と、これと熱反応してイエローに発色するカブラーとを含有している。この不正可一感熱発色層372及びイエロー感熱発色層372及びイエロー感熱発色層372及びイエロー感熱発色層372及びイエロー感熱発色層372及びイエロー感熱発色層372及びイエロー感熱発色層372及びイエロー感熱発色層372及びイエロー感熱発色層372次びイエロー感熱発色層372次びイエロー感熱発色層372次が上の出化合物が含まれている。 これらの感熱記録材料7はもともと黄色をしている。 これらの感熱記録材料7はもともと黄色をしている。 これらの感熱記録材料7が黄色から白色に変化する。なお赤このカラー感熱記録材料7の構成はデ平成2年4月4日に本出顔沢によって出願された特願平21年89384号に詳細に説明されている。

【0012】図4は、各感熱発色層31~33の特性を示すものである。横軸の熱エネル半量は標サーマルヘッド20の発熱素子が発生する熱エネルギーを表しており、イエロー感熱発色層33の熱エネルギーが最も高い。 く、シアン感熱発色層31の熱エネルギーが最も高い。 この熱エネルギーの差異の主たる要因はデシアシ感熱発色層31は、イエロー感熱発色層33、マゼンタ感熱発色層32を介して加熱しなければならないからである。

【0013】次に、このように構成されたカラー感熱プリンタの作用について図5に示すフローチャートと図6に示すグラミシグチャートを参照して説明する。プリントボタジ(図示せず)をONにすると、ランプシャッタ24が閉じられた後、紫外線ランプ22の予備点灯が開始される。この予備点灯では、紫外線ランプ22から発生される紫外線量が迅速に所定量に達するように、通常の駆動電圧より高い最大電圧で点灯される。

【0014】前配紫外線ランプ22の予備発光と同時に、カセット(図示せず)から供給されたカラー感熱記録材料7は搬送ローラ対26によってニップされ、プラテンドラム10に向けて搬送される。さらに、サーマルヘッド20は、最大濃度を記録する状態で駆動され、サーマルヘッド20の予備加熱が開始される。なお、この時、サーマルヘッド20はプラテンドラム10の周面と接触しない上昇位置に停止されている。

[0015] プラテンドラム10はクランプ部材13が 50

図1において垂直となった状態で停止しており、ソレノ イ。上1.8は通電されてクランプ部材1.3がクランプ解除 位置にセットされている。搬送只一ラ対26は、カラー 感熱記録材料7の先端がプラテントラム1.0とクランプ 部林弘3との間に入り込んだ時にいったん保止する。 れと同時は過サーマルヘッド20~の通電が停止され、 サーマルヘッド2.0の予備加熱が停止される。その後、 ソレノイド18がOFFされると、クランプ部材13は スプリング17によって戻され、カラー感熱記録材料? の先端をクランプする。このクランプ後に、プラデンド ラム10と機送ロー戸対26とが回転するから、カラ 感熱配録材料7がブラテンドラム10の外周に巻き付け 海内マートン 西部 -【0.0 1 6】カラー感熱記録材料での記録エリアの先端 がサーマルヘッド20に達すると、サーマルヘッド20 は降下され、イエリー画像の濃度に応じた駆動電流によ って熱記録が開始される。この時、すでにサーマルヘッ ド2.0 は予備加熱によって十分に温められているので、 サーマルヘッド。2.0の各発熱素子は画素の濃度に応じた 熱エネルギーを正確に発生できる状態になっており、図 7点(C) に示すように、記録開始からイエロー画像デニ 夕に基づいた所定濃度で熱記録される。この熱記録開始 と同時に、紫外線ランプ2,2は、最大電圧による予備点 灯から通常電圧による通常点灯へと切り替えられ、ラン プシャッタ24が開放される。

【0.04.7】 イエロー画像を熱記録した部分が光定着器 2.1に達するといここでイエロー感熱発色層3.3が光定 着される。この光定着に際しては、紫外線ランプ2.2は 予備点灯によって十分に温められてから通常点灯に移行 しているので、すでに所定量の紫外線を安定的に発生し ている状態になっており、光定着初期から十分な光定着 が行われる。この光定着器21は、カットフイルダ23 が紫外線ランプ22の前にセットされているから、42 0 nm付近の近紫外線がカラー感熱記録材料7に照射さ れる。これにより、イエロー感熱発色層 5 に残っていた アソニウム塩化合物が光分解して発色能力が消失する。 【0018】プラテンドラム10が1回転して配録エリ アが再びサニマルベッド2.0の位置にくると、サーマル ヘッド20は発色濃度に応じた熱エネルギーをカラー感 熱記録材料がに与え、マゼシダ画像を1ラインずつ熱記 録する。このマセンタ画像の発色熱エネルギーは、イエ ロー画像の発色熱エネルギーよりも大きいが、イエロー 感熱発色層33は既に光定着されているので、このイエ ロー感熱発色層33が発色することはない。マゼンタ画 像を記録したカラー感熱記録材料では、前述したように 定着器21で光定着される。この場合には、カットフイ ルタ23が紫外線ランプ22の前から退避しているの で、紫外線ランプ22から放射された全ての電磁線がカ ラー感熱記録材料7に照射される。この電磁線のうち、

365 nm付近の紫外線によってマゼンタ感熱発色層3

2が光定着される。
【0019】ブラテンドラム10が更に「回転じて記録エリアが再びサーマルペッド20の位置にくると、ジデン画像の熟記録が開始される。ザーマルヘッド20ほど発色濃度に応じた熱エネルギーをカラー感熱記録材料でに与え、シーン画像を1ラインが発色層31の熱記録では、光定着器21をONにすると、マセンタの光定着を完全に行うことができる。また、クランブ部 初13がサーマルペッド20を通過するように、このサ

一マルペッド20は上方に一時退避する。
【0020】イエロー画像、マゼンタ画像、シアシ画像の熱配録が終了した後に、プラテンドラム10と搬送ローラ対26とが逆転する。このプラテンドラム10の逆転により、カラー感熱配録材料7の後端が分離爪27元を設定して一つが発送した。この後にプラテンドラム10が停止する。シレノイド18が通電されるともは、プラテンドラム10が停止する。シレノイド18の通電により、クランプ部材13がスプリング17に抗して移動するから、カラー感熱配録材料70の先端のクランプが解除される。これにより、熱記録済みカラー感熱に最材料7は、給排紙通路25を経てドレイに排出される。

る。
【0021】以上説明した実施例は、多数の発熱素子を主走査方向に配列し、カラー感熱記録材料を副走査方向に移動して熱配録するラインプリンタについて説明したが、本発明はサーマルヘッドとカラー感熱記録材料を二次元に相対移動して熱配録するシリアルブリンタに対し 30 ても利用することができる。また、紫外線ランプは、4

20 nm用と365 nm用の2本を別々に設けてもよ Vi. 1日の产生、Ron/開榜上、アード・ビード [10/0/2/2] * いち ととは無数についぬまりがありま ラニ感熱プリンタによれば、熱記録を開始する前に予め サーマルペヴドを予備加熱するとともに、光定着器を予 備点灯させるようにじたのでパブリンド開始時における 記録濃度の不足や光定着不足の発生を防止できる。 【図面の簡単な説明】をのし、ふって「自治・」・・・「中 【図』『本発明を実施するカラー感熱プリンタの概略図 後、ことりの自然を開発を開酵するところ。 【図2】光定着器の紫外線ランプとカットフィルタの特 性を示すグラフである。懸意発酵物・ロエイ「1、4」 【図3】カラ会感熱記録材料の層構造の一例を示す説明 図である。含ましてするなど音楽でしています。 こうかん 【図4】 各感熱発色層の発色特性を示すグラフである。 【図5】・紫外線ラシブの予備点灯とサーマルヘッドの予 備加熱のシーケンスを示すフローチェートである。 【図 6】 図 5 のシローチャートに対応したタイムチャー トである。「養養養工手もオニ」は特別は標準 【図7】感熱記録材料を一定濃度に記録したときの濃度 分布を示し、 (A) はシェーディング補正なしの従来 例》 (B) はシューディング補正ありの従来例、(C)。 はシェーディング補正と予備加熱を併用した本発明の実 施例の場合である。 还 3.2 四个型 基门瓣经 『【符号の説明】「『自然自然性語言』に、図。 7 / カラー酸熱記録材料 () 単音線線 () () () 。 20) 母亲マルペッド 終一十十分計 上華 勝声二 **2**付與**光定着器**图 1 种 1 8 1 . 等的影像物。 212種紫外線ランプ こほご 工業商業政務 **2科郷 ランプシャック**のサイニ 選挙すっ 1985 - I 18 1 段韓部や三十十二年 (新教後根では、1917年) 多海京1948 - 韓原的【**图图】**韓月續鐵(1967年),韓傳 機能して大力性を固備でします。 これでき 34(保護層) [14] [15] → 33(イエロー 極熱労色層) ☑ 32(マゼンタ感熱発色層) 大31 (シアシ級 敷発色層) k = (一篇技能 30(支持体) 0 二 6 1 5 相 生工机心管等磷量性用量比例逐渐引通生产 不含生物中学中華大輔、18月1年標準層的 心学传统产品调查 三海萨利加萨(1.1.1) ウラは対義時 - 6 「20mm Heffel)

エアルンのほどが、この方難は、解技能

一个生物的 1000 mm 1000 mm

機能しない、年度縮い色に入れていた。

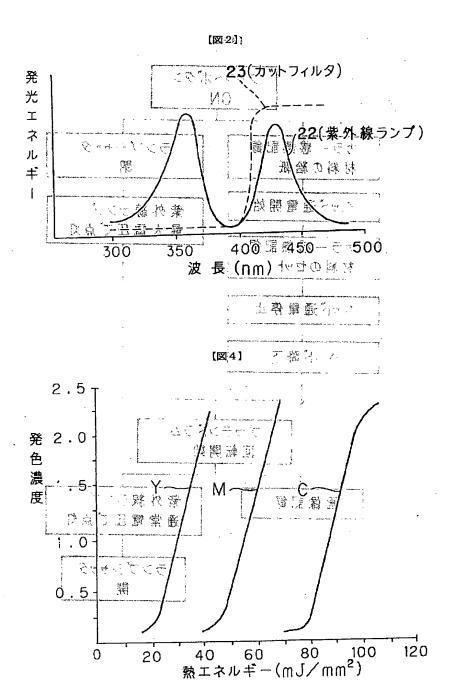
The second of the

こくされた 砂は で概要できる こうしょく

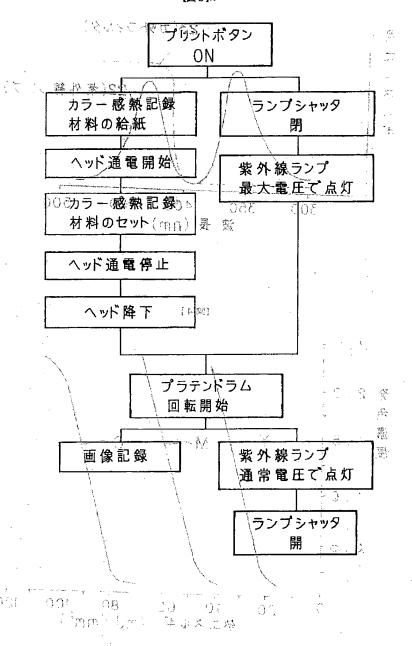
說大源實在記錄等:此能で蘇勒口;

「注号」とはた契欄の整世間その。!

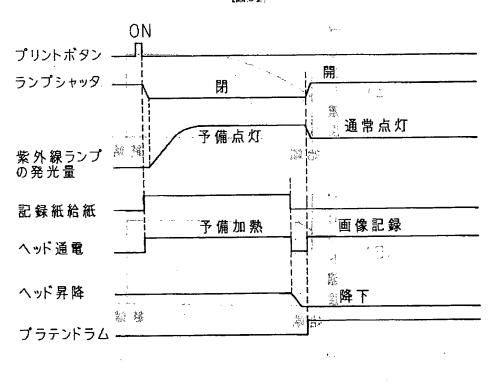
建设工具规则



[図5]]



[図6]



· 查 第一章

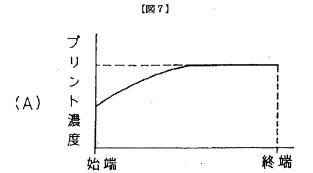
可要主要能對

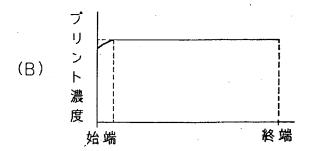
・養野機(科学) 大田寺野

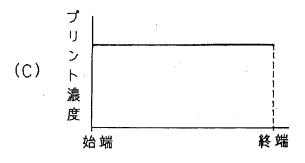
- 1、編集・2 - 大線 - 15.4 - 16.4 - 16.4 - 17.4 - 18.4

11 ..

1. 森の1







フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁵

識別記号

庁内整理番号 8305-2H F I B 4 1 M 5/26 技術表示箇所

(72)発明者 佐藤 正倫

東京都港区西麻布 2 - 26-30 富士写真フィルム株式会社内